

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 249

■ 自動車工学関連講座（中堅技術者向け Web セミナー）
第3回「基本を学ぶ！ヒューマンエラー防止の基礎講座」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様から希望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、自動車工学関連講座の一環として中堅技術者向け Web セミナーを開催しています。

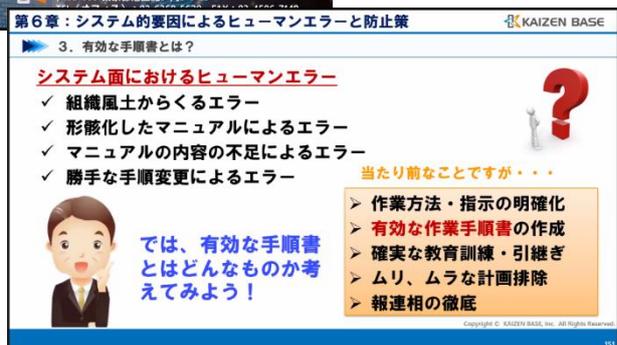
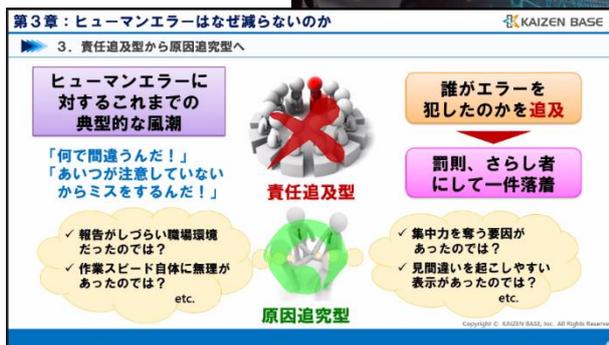
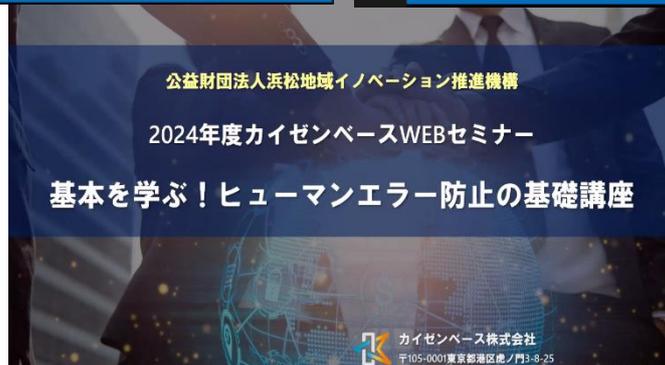
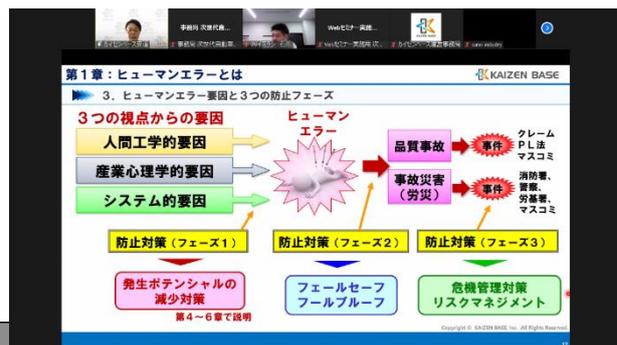
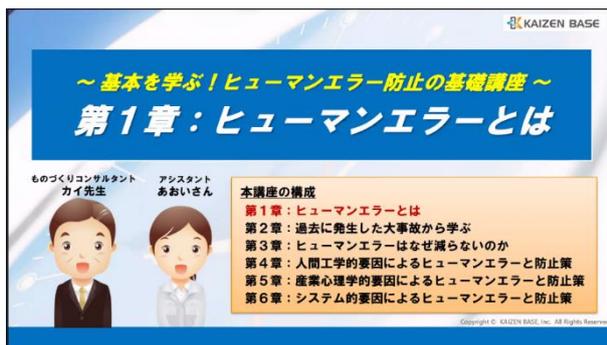
本年度も、多くの社員の皆さんが自社内で受講できる機会を企業力アップにご活用いただくため、カイゼンベース社を講師に、昨年度から内容も見直し、6回連続の Web セミナーとして順次実施しています。

今回は、その第3回目として「基本を学ぶ！ヒューマンエラー防止の基礎講座」を開催しました。

■ 日時：令和6年7月18日（木）13時30分～15時30分

■ 場所：Web形式

■ 参加者：74社／438名



【参加者の声】

- ・ 自社においても起こり得るエラーが多く、また未然防止の為の手法についても様々な内容を取り上げていただき大変参考になる内容であった。
- ・ 人間はなぜミスをするのか、人間学的にわかりやすく、対策もミスを起こさせないために考慮することが必要であると改めて感じさせられた。
- ・ ヒューマンエラーの原因は、個人の問題ではなく、その他の要因が多い。そのため、ヒューマンエラーを減らすには、個人を責めるのではなく、ミスをした原因を十分に考える必要がある。対策を十分に行うことで、その人または、他の人が同じミスを起こさないようにできる。
- ・ 人間の認知機能や経験に基づく勘コツを安易に信じるのが危険であると、実感することができた。それぞれの作業に、作業者の判断や感情が入り込む余地をなるべく減らすことで、作業のばらつきを抑えて、エラーを未然に防ぐことが肝心と学んだ。
- ・ 人間の思い違いや錯覚によってミスは絶対起こすものだということがわかった。それらの防止策を勉強することができた。
- ・ ヒューマンエラーが起こる仕組みや対策について、自分が学ぶだけでなく他者に説明しやすい内容になってよかった。具体的な事例に対しての対策などがもっと充実していれば更によかった。
- ・ トラブル発生時の原因追及や情報伝達のコツ、チェックシートの有効的な使用方法等参考になった。
- ・ ヒューマンエラーを防ぐために、思い込みをしないような作業環境をつくるのが大切だということが分かった。勘違いを防ぐために、色のイメージと指示内容を同じにする、レバースイッチの方向を機械の動作方向と同じにするなど、自然に情報処理ができるように設計を配慮することが大切だということがわかった。
- ・ ヒューマンエラーは本来すべきことと、実際にしたこととの mismatch により起こる。ミスをした本人だけではなく、それ以外にもミスの要因は必ず存在することが理解できた。個人を責めるのではなく、ミスが起きた原因を明確にし、解決することが大切だということを理解した。
- ・ 弊社での品質不具合は年々減少傾向にあるが、直近で際立って目立つのが、人起因の不具合。毎回対策に困りつつ、つつい精神論的な対策を講じてしまいがちだが、原因追及型で深掘りし、ミスの要因を取り除く対策を織り込み、人為的な不具合低減に繋げていきたいと思った。
- ・ 人がミスをするのは当然である、という前提から、ミスを引き起こしにくい方法やシステムを構築することが重要であると感じた。
- ・ ヒューマンエラーの考え方、要因などが参考になった。エラー削減として原因究明を行うこと、個人の問題にしないこと、全体で防止することが大事とわかった。ヒューマンエラー防止の為にコミュニケーションエラー等に気をつけていきたい。
- ・ 品質管理を担当しているが、市場で発生した不具合に対して、製造部門の対応として注意喚起・周知徹底ということが多々あり、原因追及型での取り組みが必要であることを学べた。
- ・ ヒューマンエラーに対して、正しい認識を持ち、三現主義でカイゼンテーマとして取り上げ要因を顕在化させ、職場で共有する事が大切であるという事が理解できた。